

# 警城時報

行發日一  
編輯兼發行 岡田弘成  
印刷所 警城時報社  
發行所 警城時報社  
一部金貳圓 一ヶ月金卅圓  
廣告料 一行十四字詰五十錢  
日刊(日曜祝祭日)翌日休刊

## さのふ石城政友幹部會

### 縣議選舉對策を協議

市部一名、郡部三名乃至四名を擁立  
部會幹部に人選を一任

政友石城部會の縣會議員對策會、強口氏の勸誘で會長、副會長は三十一日午後二時四十分幹事長に諮詢することに満場一致から平市マルトモホールに開會致決定、告示と同時に出席者は鈴木部會長、小野副會長、鈴木辰三郎、小野善平、古川長、木村元代議士、關内、速治、傳一、川崎文治、兩縣議、川崎幹事長外幹事三十の四氏で公認を決定することに余名で開會に先立ち皇居遙拜、成つた、開會に先立ち四會、大歡騰を捧げ鈴木部會長の挨拶に浦方部の黨員三十余名會場へ押次ぎ、小野副會長幹事長しかり一激を豫想されたが黨として過激開かれた支部の縣議内の軋駢を避け協力一致して當選方針を傳へ鈴木部會長議長長るべく沈黙を守り、多田井市議席に就き「縣の方針に共認から黨勢擴大に關する二、三の候補者は市部一名、郡部三名乃至四名程度で極めて固滑裡に四名を選び度い」と意見を述べて閉會した

## 選舉肅正祈願祭

### 青沼市長誓詞を奏上

#### けふ縣社子歛倉神社で

平市では九月一日午前九時縣社子歛倉神社に於て選舉肅正祈願祭を執行した、平市役所員、市會議員、區長、各種團體關係者集合、青沼市長は左の如き誓詞を奏上し式を閉じた

謹みて縣社子歛倉神社の大前に白す、今回の選舉に際し深く時局を認識し第一練將士の

## 平市區長會

平市區長會は一日午後一時から市會議事堂に開き左の諸件を協議した

- 一、選舉肅正に關する件
- 一、召集解除者氏名報告の件
- 一、縣會議員選舉に關する件
- 一、貯蓄獎勵の件

## 擴大強化を期して

### 平壯年團懇談會

鈴木中央協會幹事が出席  
既に七團體結成

壯年團の擴大強化運動の趣旨徹底のため中央協會幹事鈴木徳一氏が今日午後四時四十分分平驛着、今夜は高久村壯年團主催の研究會に臨み、明日午後七時からマルトモホールで平壯年團主催研究會に出席する旨で各區壯年團に案内状を發送した

本縣の青年團は君島知事の方針に依つて年齢を制限された結果、公共團體として社会的機能が少縮された形となり、これが補強上から各地に別項、續々結成されつゝある壯

### 中野齒科

平市田町電五〇九  
院長 中野 惠次

- 一、口腔外科
- 一、レントゲン科
- 一、生活刷新の件
- 一、青年學校生徒就學獎勵に關する件
- 一、昭和十五年度小學校就學兒童調査の件
- 一、物資配給の件
- 一、主要食料増産確保の件
- 一、肥料配給統制に關する件
- 一、家畜増殖計畫の件
- 一、勞力調整の件
- 一、諸報告期限履行の件

## 金融相談開設

日本興業銀行福島支店では時局下金融の圓滑をはかるため六月午後一時から市公會堂日本間に金融相談を開設今後毎月毎に開

## 留守宅を襲つて

飯場頭の腹癒せ

## 官吏修練場

修了者

## 四倉町警防團

選舉肅正

## 大森勇氏か

聯合團長は

年團を統制するの必要を認められ近く市聯合青年團を結成する機運が動いてゐるが、聯合團長には過激歸還した大森勇氏が擬せられてゐる

## 滿支視察講演

平警防團長關内正一氏の滿支視察講演會は三十一日午後七時半から平第三小學校に開催、聴衆約二百名で盛況裡に九時半散會した、尙今日夜は藤田女學校で講演會を開く

## 留守宅を襲つて

飯場頭の腹癒せ

## 官吏修練場

修了者

## 四倉町警防團

選舉肅正

## 市吏員献金

平市役所吏員一同は給料一日分を献出し百二十二圓八十七錢を納め大日本忠誠顯彰會に献金した

## 四倉町警防團

選舉肅正

ランクには洋服、衣類等八十八圓分が入れてあつた

## 六、七丁目

慰問袋發送

## 運送係が

石炭を盗む

## 四倉警防團

勤務奉仕

## 神谷振興委員會

トランク盗む

## 四倉町警防團

選舉肅正

## 市吏員献金

平市役所吏員一同は給料一日分を献出し百二十二圓八十七錢を納め大日本忠誠顯彰會に献金した

東京、水戸、大宮の各炭商に二千圓を貸付横領した事發覺した

## 平市人事録

出生 盤道小路三村上英夫氏長男榮佐

## 川電話開設

三百六十五番

## 平調度社

坂本 浩

## 滿支視察講演會

講師 平警防團長 關内正一氏

## 御通知

當館支配人石井孝君多年に亘り公私共に大方諸氏の御懇情を蒙り執務罷在候處今般都合に依り圓滿退職致候へば今後當館は一切無關係に御座候に付き謹告候也

## 世界館

昭十四年九月一日

